



秋田県女性消防団ネットワーク会議

平成二六年度秋田県女性消防団ネットワーク会議が九月二六日(金)秋田県庁第二庁舎で、県内の女性消防団員、消防長、消防団長など一〇名が参加し、開催されました。

会議では、中田潤秋田県消防協会長のあいさつに続き、リスクウオッチ代表長谷川祐子氏の講演と「各消防団における女性消防団員の活動状況と課題」について、パネルディスカッションを行い、大変内容の濃い会議となりました。



講演
『Are you ready?』
〜救助(クリビング)と簡単
トリアージ実技編〜

代表
長谷川祐子様
実技を交えての講演は、今後の消防活動に大変参考になりました。時間が少し足りなかつたようです。

題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
http://www.shoubou-akita.or.jp
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
http://www.matsubairainsatsu.co.jp

パネルディスカッション 各消防団における女性消防 団員の活動状況と課題

今回の会議は、「県内の女性消防団がどのような活動をされているか知りたい」という声もあり、それぞれの消防団から活動内容や手応え、これから取り組みたい活動と課題について予め報告していただきました。(会議の資料として配付)

最初に、パネリストの皆さんから自己紹介を兼ねて現在の活動内容を発表してもらいました。

次に、消防団が抱えている課題についてをテーマに、先ず「消防団員の確保・育成について」潟上市の安田さんから団員確保の状況を、また、北秋田市の金田団長からは団員の教育についてそれぞれ紹介がありました。また、仙北市の西宮さんからは、団員の本部付けと分団付けについて、にかほ市の須田さんからは、家庭・仕事と消防団活動の両立について意見が出され、最後に、今後の活動について、各パネリストから発言がありました。

(アドバイザーは長谷川祐子様)

平成二六年度全国統一防火標語
もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

◆コーディネーター



由利本荘市消防団
班長 佐藤 美子

◆パネリスト



鹿角市消防団
班長 上蘭美佐子



北秋田市消防団
団長 金田 咲美



潟上市消防団
団員 安田 恵美



にかほ市消防団
副部長 須田 典子



仙北市消防団
班長 西宮 三春

☆☆☆ 会議の総合同会は、秋田市消防団 小沼 未佳班長が担当しました。(写真…一段目)

参加者の感想

鹿角市 中村真由子 団員

長谷川先生の講演は、すごく勉強になりました。しかし、実際にその通りに出来るのか不安です。そのためにも日ごろの活動の中で、地域の皆さんにも教えていけたらと思います。

能代市 信太 和子 団員

女性が災害時の補助的役割に加え、レスキューに関わることが大切であることを学びました。情報・知識を得て、それらを実践訓練することが、ひいては地域防災力の向上となります。自分の身を自分自身を守る事は、他者の命を守る事だと思えます。

三種町 石井 咲子 班長

自分達の立場というものを改めて感じました。講習を受けて、情報も入ってくる中、それを伝えていかなければ何の意味もないし、自分をスキルアップできないと思えます。先ずは、今回の講習に参加出来なかった消防団仲間にも伝えます。

男鹿市 石塚とみ子 団員

長谷川様のご講演では災害時の実践的な対応等をご教示頂き、大変勉強になりました。また、防災教育の重要性についても再認識いたしました。今回の研修で得た知識を消防団活動において周知啓蒙して参りたいと思います。

潟上市 安田 冬美 団員

この四月に入団したばかりで、色々な団員の話を聞いているうちに、自分がやらなければという気持ちと、自分に出来るのか不安な気持ちが入り交じっています。仲間と一緒に消防団員として少しでも貢献できればと思っています。

秋田市 堀井 広恵 団員

久しぶりに参加させて頂きました。以前より団員一人一人の地域防災意識の向上を感じました。秋田市は、他の市町村に比べると地域密着にはまだまだ遠く、そういった目線からも自らの意識改革をしていきたいと思えました。

由利本荘市 佐々木教子 団員

講師の話はとても分かりやすく説得力があり、時間が少なくて残念でした。他の消防団の話は大変参考になりました。他の消防団の話は大変参考になりました。他の消防団の話は大変参考になりました。他の消防団の話は大変参考になりました。

にかほ市 今野 裕子 班長

パネルディスプレイでは、県内各地域の活動を知ることができ、これからの活動の励みになりました。長谷川先生の話したとおり、今後も家事に仕事に消防団活動に・・・欲張りに頑張っていきたいと思えます。

大仙市 一色 順子 班長

長谷川先生から、訓練以上のことは出来ないで、普段の訓練に積極的に参加し、知識・技術を習得する

ことの大切さや、危機管理を幼少期から教える必要性を学びました。活動の基礎となる内容でとても勉強になりました。

仙北市 大石 友子 団員

私が興味を持ったのは、長谷川祐子氏の講演で、女性らしい観点からの発想や工夫で我が身を守る大切さを面白く分かりやすく話され、私も今後の活動に生かし、市民のためにお役に立てるよう頑張っていきたいと思えました。

横手市平鹿 高橋ノブ子 部長

パネラーの皆様のすばらしい発表に圧倒されました。一方私達の活動は地味ですが、平凡な日常生活の中で自分達の廻りの命に寄り添い、何かあれば手助けをすることが、地域の安心安全を守る一番の近道と考え活動します。

湯沢市 堀江 由美 団員

長谷川さんの講演はすごく勉強になりました。また、他市町村の事例は参考になり、ここで学んだことを生かしていきたいと思います。このような機会を与えていただきありがとうございます。

女性消防団国際会議

主催…日本消防協会

九月二九日(月)都市センターホテル(東京都千代田区)において、八ヶ

国が参加して「女性消防団国際会議」が開催されました。

本県からは、近野湯沢市消防団長(県協会理事)ほか二名の女性消防団員が参加しました。

女性消防団員から、会議に参加しての感想文が寄せられましたのでその要旨を紹介します。

大館市 奥村 牧子 分団長

女性が幹部に登用される動きも出てきている中で、先ずは活動環境を整備することが大事だということでした。アメリカからは、多様な問題が提起され、内容が細部にわたり大変参考になりました。私達もそれら一つひとつに目を向け、活動しやすい環境を創り上げていかなければならないと思えました。女性は男性同様に仕事が出来ることが期待されている国も多く、大いに励まされました。

湯沢市 後藤 綾 団員

パネラーの話のスケールが大きすぎて驚きました。また、各国の消防事情を詳しく知ることができ、視野を広げる良い機会でした。常備消防がメインのお話でしたが、消防団にも通じる部分があり、勉強になりました。性別を問わずに、消防職員なども参加し、情報を共有することにより、ますます女性消防団の活性化に繋がっていくのではと思えました。

平成二六年秋の叙勲・褒章 第二三回危険業務従事者叙勲

平成二六年秋の叙勲・褒章及び第二三回危険業務従事者叙勲の受章者が十一月三日(月)に発令されました。

本県の消防関係では、秋の叙勲で二一名、褒章二名、危険業務従事者叙勲で八名が受章されました。十一月四日(火)午後一時三〇分から秋田県正庁において知事の伝達式が行われました。

また、消防庁長官の伝達は、秋の叙勲が十一月七日(金)ニッシーホール、危険業務従事者叙勲が十一月一日(火)日比谷公会堂、褒章が十一月一日(金)スクワール麹町で行われ、それぞれ叙勲・褒章伝達後、皇居において拝謁が行われました。

受章者の皆様、誠におめでとうございます。



知事の伝達式

平成二六年秋の叙勲

◆瑞宝単光章(二一名)

- 元秋田市消防団 副団長 畑澤 稔

- 元秋田市消防団 分団長 船木 幸之助
- 元大仙市消防団 副団長 今野 久信
- 元大館市消防団 分団長 畠山 光雄
- 元大館市比内消防団 副団長 北村 伊市郎
- 元神岡町消防団 副団長 高橋 一明
- 元三種町消防団 副団長 佐藤 良廣
- 元仙北市消防団 副団長 大石 徹治
- 元雄物川町消防団 分団長 安部 幸清
- 元本荘市消防団 分団長 遠藤 金夫

第二三回危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章(四名)

- 元由利本荘市消防本部 消防司令長 打矢 洋介
- 元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 照井 久栄
- 元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 齊藤 紀代治
- 元秋田市消防本部 消防司令長 小松 正美

- 元鹿角市消防団 副団長 柳澤 誠
- 元由利本荘市消防団 副団長 鈴木 忠
- 元湯沢市消防団 副団長 麻生 俊一
- 元中仙町消防団 分団長 鈴木 健朗
- 元田代町消防団 分団長 畠山 忠雄
- 元美郷町消防団 副団長 五十嵐 養藏
- 元湯沢市消防団 副団長 金子 忠久
- 元五城目町消防団 副団長 大石 壽信
- 元矢島町消防団 副団長 柴田 喜久男
- 元中仙町消防団 分団長 富岡 初男
- 元大森町消防団 分団長 高橋 重男

◆瑞宝単光章(四名)

- 元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 千葉 正夫
- 元北秋田市消防本部 消防司令長 松橋 田加生
- 元横手平鹿広域市町村圏組合消防本部 消防司令 高橋 宏三
- 元鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部 消防司令 澤藤 巖

平成二六年秋の褒章

◆藍綬褒章(二名)

- 現大潟村消防団 副団長 谷口 良一
- 現八郎潟町消防団 副団長 渡部 壽一



各地域における総合防災訓練の実施状況

能代市山本郡

| | |
|--------|--|
| 開催日 | 平成26年5月24日 (土) |
| 開催地 | 能代市地区 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・5月24日(土)午前9時40分、巨大地震発生。 ・能代市では震度6強を観測。 ・大津波警報が発表。 ・第四小学校周辺で火災発生。 ・地震によるガス漏れ、電力施設の損壊等、ライフラインにも被害が発生。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者対応訓練、街区火災防ぎょ訓練 ・ガス漏れ、電力施設、通信施設復旧訓練 ・倒壊建物救出、応急救護所設置訓練、情報共有拠点設置、安否確認訓練、防災ヘリ情報訓練、物資輸送 ・化学災害訓練、避難所開設訓練、災害ボランティア支援訓練 |
| 参加人員 | 2,040名 (30機関・各自治会を含む) |



鹿 角

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 平成26年9月28日 (日) |
| 開催地 | 鹿角市花輪地区 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・9月28日(日)午前8時30分頃、震度5強の地震が発生。 ・ショートステイ「はなわあいの」で火災が発生、ケガ人が数人であったため地域の自主防災会に応援を要請した。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設と自主防災組織の連携訓練 ・煙体験 ・ショートステイ「はなわあいの」避難誘導訓練 ・婦人防火クラブによる放水訓練 ・援護、消火、炊き出し訓練 |
| 参加人員 | 130名 (5団体) |



男鹿潟上南秋

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 平成26年11月11日 (火) |
| 開催地 | 井川町地区 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・2週間ほど雨が降り続き、大雨注意報が出されている。町の中央部を流れる井川の水位が水防団待機水位に達しており、傾斜地の地盤が緩んでいる状態で、役場内では警戒体制がとられている。 ・11月11日(火)午前8時55分、井川町東部を震源とする、震度6 (マグニチュード7.5) の地震が発生、その後も震度4の余震が断続的に続いた。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報伝達訓練、避難誘導訓練、災害対策本部設置訓練 ・避難誘導訓練、土砂災害対応訓練 ・河川氾濫水害防ぎょ訓練、火災防ぎょ訓練 ・避難所設置訓練、避難誘導訓練、救急輸送連携訓練 |
| 参加人員 | 250名 (11団体) |



大館北秋田

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 平成26年8月24日 (日) |
| 開催地 | 大館市長木川河川敷 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・8月24日(日)午前9時30分、発達した低気圧による降雨が数日来続き、市内の主要河川が危険水位に達する中、秋田沖においてマグニチュード7.9の地震が発生、大館市では震度6強の揺れを観測した。 ・災害対策本部を設置し情報収集したところ、長木川堤防からの溢水及び堤防決壊の恐れがあり、直ちに避難勧告の伝達、広報を開始した。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民総合訓練、情報収集訓練、災害対策本部設置、運営訓練 ・避難勧告伝達、広報訓練、多種災害対応訓練 ・水防工法(積み土嚢)訓練、道路啓開訓練、土砂災害救助訓練 ・中洲救出訓練、水難救助、ゴムボート救出訓練 |
| 参加人員 | 250名 (16団体) |



平成26年度秋田県総合防災訓練は8月31日(日)、秋田県、横手市、消防、警察、自衛隊など60機関から約2,100人が参加し、横手市で行われました。(秋田県総合防災課調)

★紙面の関係で、横手市支部の状況は、8頁に掲載しております。

大仙仙北美郷

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 平成26年8月27日 (水) |
| 開催地 | 美郷町六郷地区 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> 8月27日(水)午前9時頃、断層地震の連動によりマグニチュード7.7の巨大地震が発生し、美郷町六郷では震度6強を観測した。 建物の倒壊や道路、通信、電力などのライフラインが寸断し、町内の各所から火災が発生した |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> 情報収集調査伝達訓練 避難所開設訓練、応急救護所設置訓練、街区火災消火訓練 避難訓練、煙体験、大規模火災防ぎよ及びはしご車救出訓練 土砂災害救出搬送訓練、ヘリ引き継ぎ訓練、炊き出し訓練 |
| 参加人員 | 900名 (20機関・団体) |



秋 田 市

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 平成26年8月29日 (金) |
| 開催地 | 秋田市新屋地区 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> 8月29日(金)午前7時30分、秋田県沖を震源とする非常に強い地震が発生し、秋田市では震度6強を観測、気象庁は秋田県に大津波警報を発令した。 市内各地域で建物倒壊や火災が発生しているほか、津波による家屋や車両の流出損壊により多数の死傷者が出ており、多くの市民が避難場所に避難している。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> 中高層建物火災救助、救出訓練、住民避難訓練 航空機等からの救助、救出訓練、避難所開設、運営訓練 現地対策本部設置、運営訓練 応急救護所設置、運営訓練、災害多数傷病者対応訓練 |
| 参加人員 | 1,500名 (34団体) |



湯沢市雄勝郡

| | |
|--------|--|
| 開催日 | 平成26年9月10日 (水) |
| 開催地 | 東成瀬村地区 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> 9月10日(水)午前9時頃、秋田県南部を震源とするマグニチュード6.8の強い直下型地震が発生し、東成瀬村では震度6強を観測した。 この地震により、建物の損壊や火災が発生し、ライフラインが寸断された。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部設置訓練 火災防ぎょ訓練、自主防災組織災害対応訓練 通報訓練、避難誘導訓練、消火訓練、NBC災害対応訓練 多数傷病者対応訓練、総合訓練 |
| 参加人員 | 600名 (17機関・団体) |



由利本荘にかほ

| | |
|--------|---|
| 開催日 | 平成26年9月6日 (土) |
| 開催地 | 由利本荘市東由利地区 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> 数日間の晴天により空気が乾燥しており、火災が発生した場合延焼拡大する恐れがあるため、警戒体制を強化し防火広報を行う。 9月6日(土)午前8時25分頃、秋田県内陸部を震源とする非常に強い地震が発生、東由利地域では震度7を観測。由利本荘市は災害対策本部を設置する。 地震により家屋が倒壊し、中に要救助者がいるとの通報あり消防署、消防団員が協力し、救出救助活動を行う。 |
| 主な訓練内容 | <ul style="list-style-type: none"> 広報、情報伝達訓練、避難訓練、避難所設営訓練 消防防災ヘリ空中消火訓練、救助救出、応急救護訓練 初期消火訓練、多数傷病者事故対策訓練 建物火災防ぎょ訓練、はしご車救出、放水訓練 |
| 参加人員 | 600名 (21機関・団体) |



第四期 女性消防団員研修

秋田県消防学校



第四期女性消防団員研修は、一〇月二五日(土)、二六日(日)の二日間、秋田県消防学校(由利本荘市)において県内七消防団から一二名が参加して行われました。

入校式で、秋田県消防協会中田潤会長は「女性消防団員は年々増加しており、平成二〇年と比較し、実に二・五倍を超える二〇二人増の三二

六人となっている。また、消防活動においても、地域住民の安心・安全に対する関心の高まりなどで、その内容も多様化、専門化してきており、とりわけ女性消防団員には、住宅用火災警報器の普及促進、独り暮らしの高齢者宅の訪問、住民に対する防災教育や応急手当の普及指導の面で活躍が期待されている。」と述べられました。



■研修内容

講話(県消防協会会長)
消防活動訓練(訓練礼式、消火訓練、結索訓練、ホース延長)

救命講習(普通救命講習)
消防団の活性化(秋田市消防本部)
各地域活動紹介・意見交換
■受講生名簿

| | |
|-------|-------|
| 鹿角市 | 金澤真由美 |
| 秋田市 | 堀井 泉 |
| 由利本荘市 | 佐々木教子 |
| 大仙市 | 後藤 富子 |
| 仙北市 | 米澤 麻美 |
| 仙北市 | 阿部 千晶 |
| 仙北市 | 藤村 香織 |
| 横手市平鹿 | 高橋ノブ子 |
| 横手市平鹿 | 長澤 美子 |
| 横手市平鹿 | 鶴岡 文子 |
| 横手市山内 | 田代 文子 |
| 横手市山内 | 畑 しのぶ |

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

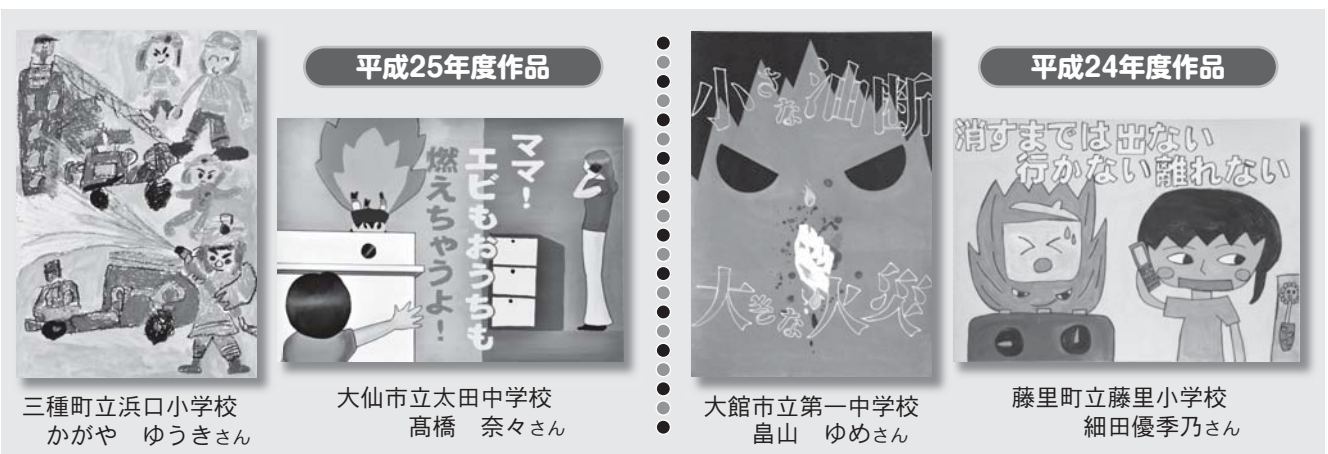
ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

平成26年度 防火ポスターコンクール募集要項

- 1. 目的** 少年少女の防火意識を高めるとともに、一般県民の防火思想の普及啓発を図ることを目的とする
- 2. 主催** 秋田県・(公財)秋田県消防協会
- 3. 後援** 秋田県教育委員会・秋田魁新報社・NHK秋田放送局
- 4. 募集規定**
- (1) ポスター
 - イ 色数、表現方法は自由とし、防火思想の普及に適するものであること
 - ロ 大きさはB3版又は画用紙四つ切大(54cm×38cm)程度であること
 - ハ 一人一点とする
 - (2) 応募資格 県内の小・中学校の児童生徒
 - (3) 募集期間 平成26年11月1日～12月31日(12月31日の消印有効)
 - (4) 審査 学識経験者・秋田魁新報社・NHK秋田放送局・秋田県(公財)秋田県消防協会で構成する審査会において行います。
 - (5) 入賞発表 平成27年2月上旬頃、秋田魁新聞紙上にて発表
 - (6) 賞 次の入賞者には、学校を通じて賞状と図書カードを贈呈します。
小学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作10名まで
中学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作10名まで
一席5,000円 二席3,000円 三席2,000円 佳作1,000円
- 5. 募集条件**
- (1) 応募は未発表の作品に限る。
 - (2) 応募作品は原則として返却できません。(返却を希望される場合、選外作品に限り送料着払いにてお返ししますので、事前にお申し出ください)
入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
 - (3) 募集規定に違反した作品は採用いたしません。
 - (4) 作品には市町村名、学校名、学年、氏名(ふりがな)、性別を記入した**名札(たて6cmよこ20cm程度)**を作品の右下に必ず貼り付けてください。
【記入例】 ※ふりがなは必ずご記入ください。

| | | |
|------|-----------|---|
| 市町村名 | 学 校 名 | |
| | (ふ り が な) | 性 |
| 学 年 | 氏 名 | 別 |

- 6. ポスターの作製**
一席に入賞した作品どちらか1点で防火ポスターを作製しますので、**作者の学校名・学年・氏名をポスターに記載することを予めご了承ください。**
- 7. 送り先** 〒010-0951 秋田市山王4-1-2 秋田地方総合庁舎
(公財)秋田県消防協会あて お問合せ先 TEL 018-867-7320
※ 作品を送付される場合、送料は応募者をご負担ください。



支部情報アラカルト

女性消防団員による救命講習

仙北市消防団II

今年二月、仙北市女性消防団員七名が、支部主催による三日間の応急手当普及員講習を受講しました。

資格を取得した団員は、地元消防署の救急救命士とともに救命講習などに出向き、応急手当の普及啓発に市内各地で活躍しております。

そのような中、昨年の土石流災害を受け自主防災組織を設立した石神地区では、仙北市防災月間にあわせ、八月三十一日大雨による玉川の氾濫を想定した避難訓練が初めて行われ、住民や消防団員など約一二〇人



が避難誘導と安否確認など、いざというときの対応を確認しあいました。

訓練終了後には、会館に集まった地域住民の方に、応急手当普及員の女性消防団員がAEDの使い方等の指導を行い、また参加者からも、救命に関して次々質問が飛び交うなど、真剣な眼差しで取り組んでおり、共に、有意義な講習会となりました。

指導に当たった女性消防団員は「このような活動が市内全域に広まっていくことを期待しています。」と講習会を締めくくっております。

【情報提供】大仙仙北美郷支部

横 手 市

| | |
|--------|--|
| 開催日 | 平成26年8月31日(日) |
| 開催地 | 横手市赤坂総合公園周辺及び市内各地 |
| 訓練想定 | ・8月31日(日)午前8時、横手盆地・真昼山地を震源としたマグニチュード8.1の地震が発生し、県内陸南部を中心に大きな揺れが発生、横手市では震度7を観測、家屋の倒壊、道路の損壊等とともに火災が発生しており、各地で住民主体の初期消火や要援護者の避難支援等が行われている。 |
| 主な訓練内容 | 平成26年度秋田県総合防災訓練として実施 ・住民自らが命を守るために何をすべきか考え、行動する訓練 ・参加者と防災関係機関が大規模広域災害時に的確に対応する実際の訓練 ・県民、市民の防災意識の高揚 |
| 参加人員 | 8,100名(60機関・団体) |



火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

| | 平成26年 | | 平成25年 | | | 同期比較 | |
|---------|-------|-----|-------|-----|-----|------|------|
| | 10月 | 累計 | 10月 | 累計 | 年計 | 10月 | 累計 |
| 建 物 | 18 | 172 | 15 | 169 | 204 | 3 | 3 |
| 林 野 | 0 | 43 | 0 | 34 | 34 | 0 | 9 |
| 車 輛 | 3 | 22 | 1 | 33 | 39 | 2 | - 11 |
| そ の 他 | 3 | 62 | 5 | 67 | 72 | - 2 | - 5 |
| 合 計 | 24 | 299 | 21 | 303 | 349 | 3 | - 4 |
| 死 者 数 | 2 | 30 | 2 | 19 | 22 | 0 | 11 |
| 負 傷 者 数 | 3 | 51 | 4 | 59 | 66 | - 1 | - 8 |

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651